

1. 科目名 (単位数)	公認心理師の職責 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP3356
2. 授業担当教員	鎌田依里		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特にありません		
7. 講義概要	<p>公認心理師とは、公認心理師登録簿への登録を受け、公認心理師の名称を用いて、保健医療、福祉、教育その他の分野において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって、次に掲げる行為を行うことを業とする者をいいます。</p> <p>(1) 心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析 (2) 心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助 (3) 心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助 (4) 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供</p> <p>このような職務を適切に遂行するために必要な知識と倫理を身につけるために、①公認心理師の役割、②公認心理師の法的義務及び倫理、③心理に関する支援を要する者等の安全の確保、④情報の適切な取扱い、⑤保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務、⑥自己課題発見・解決能力、⑦生涯学習への準備、⑧他職種連携及び地域連携について学びます。</p>		
8. 学習目標	①公認心理師の役割について理解し、説明できるようになる。 ②公認心理師の法的義務及び倫理について理解する。 ③心理に関する支援を要する者等の安全確保の方法を身につける。 ④情報の適切な取扱い方について理解する。 ⑤保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務を理解し、説明できるようになる。 ⑥公認心理師として求められる資質、技能、倫理について理解し、自己に求められる課題把握ができるようになる。 ⑦生涯学習への準備の必要性を理解する。 ⑧他職種連携及び地域連携について理解し、説明できるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	○評価のもとになるレポート課題 心の支援を担う国家資格である「公認心理師」について、あなたがもつイメージや期待、また、この資格が抱える課題について意見をまとめなさい。 ○レポートの執筆量や提出期限などはおって示します。 ○また授業内でのグループ活動や個人ワークも成績評価の対象となりますので、一生懸命に取り組んでみてください。		
10. 教科書・参考書・教材	【参考書】野島一彦・繁枘算男監修『公認心理師の職責』遠見書房 (2,000 円+税)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 ①公認心理師の役割について理解し、説明することができる。 ②公認心理師の法的義務及び倫理について理解している。 ③心理に関する支援を要する者等の安全確保の方法を身につけている。 ④情報の適切な取扱い方について理解している。 ⑤保健医療、福祉、教育その他の分野における公認心理師の具体的な業務を理解し、説明できる。 ⑥公認心理師として求められる資質、技能、倫理について理解し、自己に求められる課題把握ができる。 ⑦生涯学習への準備の必要性を理解している。 ⑧他職種連携及び地域連携について理解し、説明できる。 ○評定の方法 学期で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢 20%、試験 40%、課題レポート 40%で判断する。		
12. 受講生へのメッセージ	公認心理師になるためには原則として大学院での学修が必要となります。大学 (学部) 時代に、自分の公認心理師としての適性を確認することが重要です。いつも自分に問いかけてください。		
13. オフィスアワー	初回講義時にお知らせします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	イントロダクション なぜ公認心理師を目指すのか?	事前学習	公認心理師を目指す場合の動機をまとめておく。
		事後学習	他の受講生の意見を自らの場合と比較検討する。
第 2 回	公認心理師の役割	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 3 回	公認心理師の法的義務・倫理	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 4 回	クライアント/患者らの安全の確保のために	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 5 回	情報の適切な取り扱いについて	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 6 回	保健医療分野での公認心理師の具体的な業務	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第 7 回	福祉分野での公認心理師の具体的な業務	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。

		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第8回	教育分野での公認心理師の具体的な業務	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第9回	司法・犯罪分野での公認心理師の具体的な業務	事前学習	教科書の事前確認から問題意識を創出する。
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第10回	産業・労働分野での公認心理師の具体的な業務	事前学習	
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第11回	支援者としての自己課題発見・解決能力、箱庭体験	事前学習	
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第12回	生涯学習への準備	事前学習	
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第13回	多職種連携・地域連携	事前学習	
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第14回	公認心理師の今後の展開	事前学習	
		事後学習	関心事項の情報を追加検索する。
第15回	公認心理師とは何か（全体のまとめ）	事前学習	公認心理師に求められる要件のために何を学修(経験・体験)する必要があるかまとめておく。
		事後学習	公認心理師に必要な要件を日常生活で実践する。